

この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら時計を動かします。

ソーラー充電機能

◆携帯電話と通信できます

Bluetooth® SMART対応の携帯電話と接続し、通信することができます。

モバイルリンク機能

◆2つの時刻を表示できます

現在時刻の他に、別の時刻を小窓に表示できます。モバイルリンク機能を使えば、ワールドタイム都市を設定し、その都市の時刻を小窓に表示できます。

デュアルタイム機能

◆ストップウォッチとして使えます

1秒単位で24時間まで計測できます。

ストップウォッチモード

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

アラームモード

製品仕様

精 度：平均月差±15秒

基 本 機 能：時・分(10秒ごとに計が動きます)・秒、24時間制、日付(2000～2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

デュアル：時・分、24時間制
タイ ム 機 能：ホームタイムの時刻入れ替え機能

ス ト ッ プ：計測単位＝1秒
ウォ ッ チ 機 能：計測範囲＝23時間59分59秒(24時間)
計測機能＝通常計測、スプリット計測
スピード表示＝0～300unit/h

アラーム機能：セット単位＝時・分
電子音＝10秒間

モ バ イ ル：自動時刻修正機能
リ ン ク 機 能：決まった時刻に自動で時計を合わせる
Eメール確認機能
時計操作により、メール受信の有無を確認
携帯電話探索機能
時計操作により、携帯電話の音を鳴らす
データ転送
1/1000秒ストップウォッチ：
計測データ100本(計測年月日時刻、ラップ/スプリットタイム、ラップ番号、最高ラップ表示、平均時速、距離設定)
針ずれ補正機能
通信仕様
Bluetooth® SMART
通信距離＝～2m(環境により変化)

そ の 他：パワーセービング機能、
バッテリー充電警告機能、
機内モード(通信を無効にする)

使 用 電 池：二次電池

製品仕様

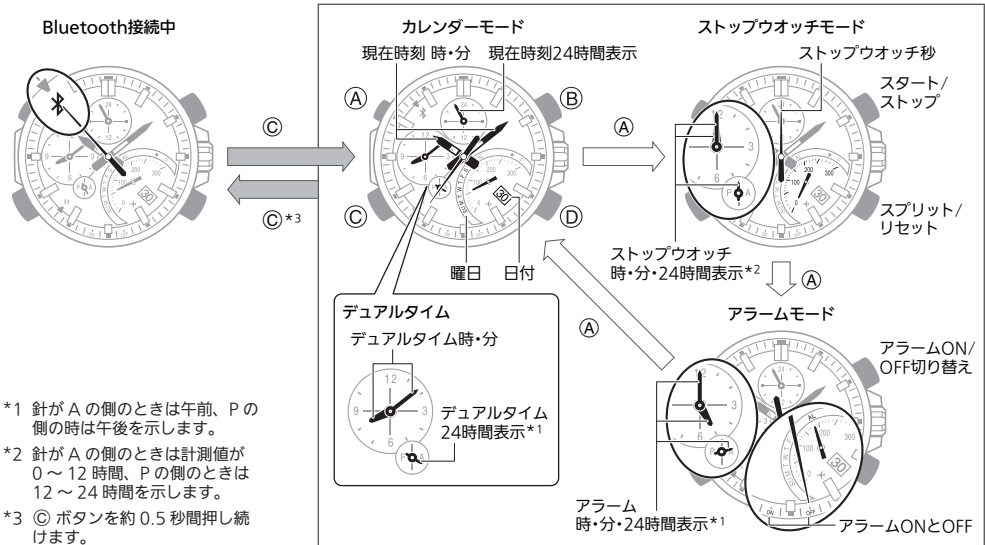
持 続 時 間：約7ヵ月

使用条件
・モバイルリンク機能：
4回(9分間)／日
・アラーム：1回(10秒間)／日
・パワーセービング：6時間／日

時計の使い方

ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。

- (A) ボタンを約2秒間押し続けると、カレンダーモードに切り替わります。



*1 針がAの側のときは午前、Pの側の時は午後を示します。

*2 針がAの側のときは計測値が0～12時間、Pの側のときは12～24時間を示します。

*3 ③ ボタンを約0.5秒間押し続けます。

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏面に「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏面に表記	日常生活用強化防水			
		日常 生活用 防水	5気圧 防水	10気圧 防水	20気圧 防水
使用例	洗滌、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィング	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

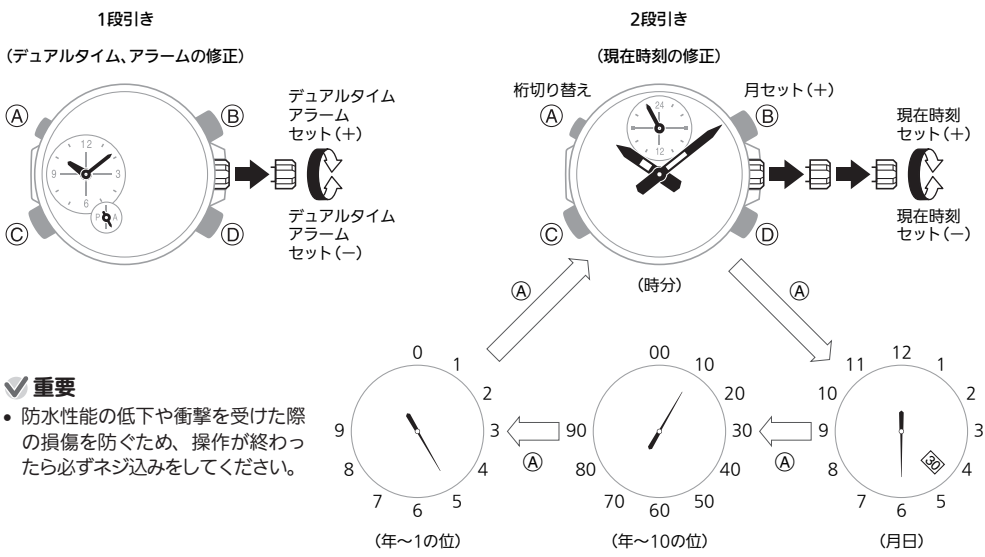
- 専門的な潜水＝スキューバダイビング(空気ボンベ使用) でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏面に「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用は避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用は避けください。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用するこ

- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安) なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革/バンドを使用しているモデルがありますが、皮革/バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用は避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかつたり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

◆りゅうずの操作(お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ネジ込みを緩めてください)



▼重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずネジ込みをしてください。

- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償) や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど) には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでもチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル) 時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂/バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

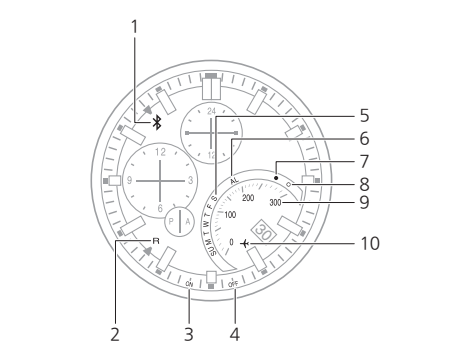
■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。

◆文字板の表示について



1. ※:Bluetooth接続中
2. R:Bluetooth接続待機中
3. ON:アラームオン
4. OFF:アラームオフ
5. SU/M/T/W/T/F/S:曜日
6. AL:アラームモード
7. ●:メール受信有
8. ○:メール受信無
9. 0…100…200…300:スピード
10. ✕:機内モード

機能の詳細(操作ガイド)については、下記ウェブサイトにあるEQB-500の「Japanese/日本語」を選んでご覧ください。



<http://support.casio.com/wat/b/>

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けているので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けているので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切ると、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することと考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることは使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人電波産業会)に準ずる>

- 本機は2.4GHz帯を使用し、変調方式はDS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH、FH-OFDM複合方式以外の「その他の方式」です。また、想定される干渉距離は約10mです。

2.4 XX1

- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。
- 1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
- 3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかな布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。
- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属/バンドおよび樹脂/バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸水性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂/バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂/バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革/バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回し、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

<さび>

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が滲れられると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出ると、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

<劣化>

- 樹脂/バンドや樹脂/ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

<かぶれ>

- 皮膚の弱い方や体質により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革/バンドや樹脂/バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因となります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンド(フリータイプの中留構造/バンド※を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。

お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

